資 料 3-4

テーマ５
避難所の受け入れ体制・運営はどうするのか！

～住民の皆さんが**安心して避難所へ避難する**ために～

令和2年2月18日
福知山市市民総務部危機管理室

避難所の受け入れ体制・運営はどうするのか

現　状

〇各広域避難所は、市の職員１名が開設員として任命され、運営にあたっているが、**避難者が多い場合など対応が困難**となる場合もある。

〇広域避難所の避難空間の多くは体育館などで、空調などの設備がなく、**すごしやすい環境とはなっていない**。

〇停電時に**非常用電源が速やかに確保できない**避難所がある。

〇公設福祉避難スペースには保健師を配置するが、それ以外の避難所では**避難者の健康管理が困難**である。

〇災害時要配慮者の避難については、一般の避難所からトリアージにより公設福祉避難スペースを有する避難所（４箇所）や指定福祉避難所に集約することとしている。

〇過去の水害では、避難が長期にわたる場合は、避難者を指定緊急避難場所から指定避難所に集約し、一箇所で運営を行ったケースがある。

〇道路浸水により緊急車両が通行できない状況があった。

１　広域避難所・指定避難所の運営のルール化

２　広域避難所・指定避難所の環境整備

３　災害時要配慮者の避難受入体制の整備

４　緊急車両の移動経路の確保

1　広域避難所・指定避難所の運営のルール化

課　題

〇近年の気象環境の変化により、激甚化、局地化し、急激に状況が悪化することも想定される状況下では、**地域住民の自主的な避難所の開設・運営が有効**である。
〇長期にわたり、複数個所の**指定避難所運営を想定した体制の整備**が必要でないか。

1　広域避難所の開設・運営方針の策定

2　指定避難所運営マニュアルの策定

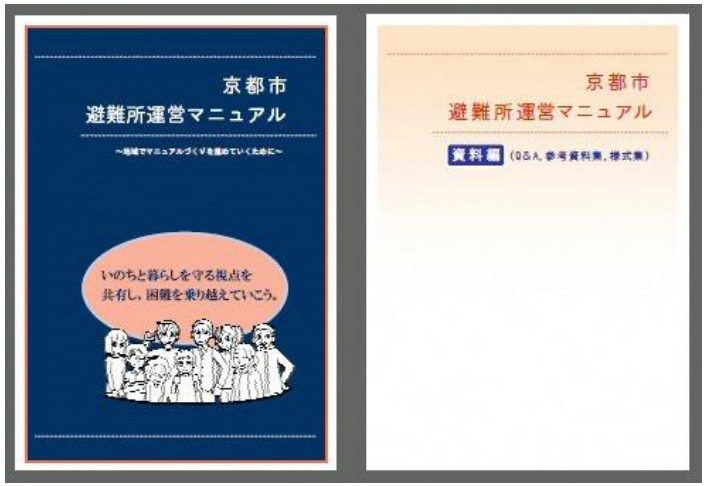
3　広域避難所におけるペットや喫煙などの扱いも含めた運営マニュアルの策定

1　広域避難所の開設・運営方針の策定

近年の気象環境の変化により激甚化、局地化し、急激に事態が悪化することも想定される状況下では、地域住民の自主的な避難所の開設・運営が有効であることから、「自分の身は自分で守る」という視点からも、京都市で行われているような、地域住民による避難所運営が行える仕組みをつくることが望ましい。

【京都市における避難所運営の例】

京都市では、大規模災害時に地域における生活や情報の拠点となる避難所について、地域住民自ら開設、運営することができるよう、地域の特性や実情に応じた避難所ごとの運営マニュアルを策定する取組を進めており、避難所の開設・運営は地域住民の手により行われる仕組みがつくられている。



対応の方向性と調整事項（案）

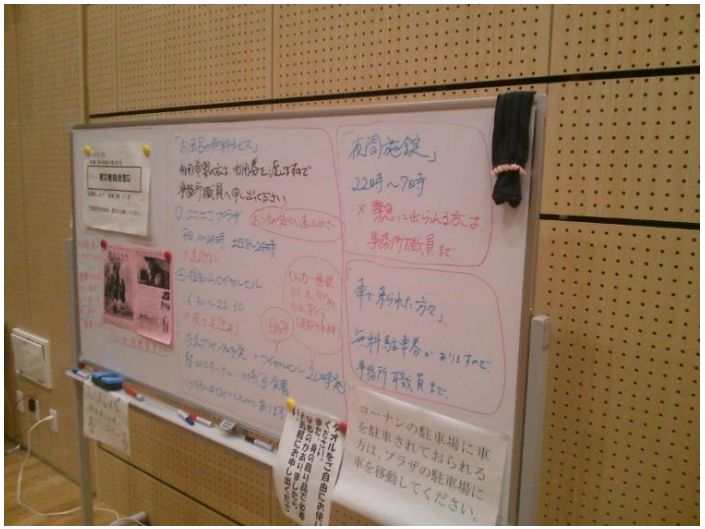
実際に地域住民と連携して避難所開設・運営を実施している先進的な例もあり、本市においても地域住民と連携した避難所開設・運営を実施する方向性で、他市町での事例を参考とした仕組みの導入について継続的な課題として取り組む。

２　指定避難所運営マニュアルの作成

被災の状況により、長期にわたり指定避難所での避難生活を余儀なくされるおそれがあることから、避難ルールの作成、避難環境の整備や避難者の健康管理などについてマニュアル化を図り、被災者の体力的・精神的負担を軽減する。また、状況に応じ、他の自治体からの支援を想定し、受援計画の策定を進める。

指定避難所の運営マニュアルの作成

平成26年　8月豪雨時の福知山市民交流プラザ（指定避難所）の様子



対応の方向性と調整事項（案）

本市の災害経験などを考慮したうえで、他市の取組なども参考にしながら、令和2年度中に長期避難を想定した指定避難所運営のためのマニュアルを作成し、長期避難に対応できるようにする。
また、状況に応じ、他の自治体からの支援を想定した受援計画の策定を進める。

３　広域避難所におけるペットや喫煙などの扱いも含めた運営マニュアルの策定

ペットを飼っていることなどの理由で、避難が必要な人が避難を躊躇することがないよう、様々な課題について整理し、ルール化を図り周知することで、円滑な避難が行えるよう、避難所運営方針を策定する。

対応の方向性と調整事項（案）

ペットの扱いなどのルール化

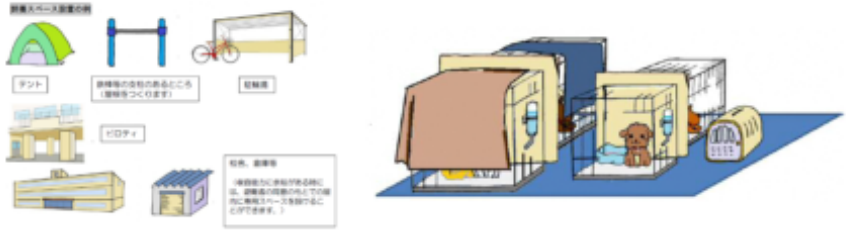
【参考】さいたま市地域防災計画

≪さいたま市地域防災計画（抜粋）≫

飼い主とともに避難した動物（盲導犬、聴導犬、介助犬を除く）に関しては、避難場所・指定避難所の円滑な運営を図るため、飼い主から住所、氏名、動物の種類及び数を届け出てもらい、避難場所班長は避難場所運営委員会の環境班長に報告する。

避難した動物の取り扱いについて、避難場所・指定避難所では様々な価値観を持つ人が共同生活を営むことに鑑み、居室への動物の持ち込みは原則禁止とし、敷地内の屋外に飼養専用スペースを設置し飼養させることとする。ただし、施設に別棟の倉庫等があるなど収容能力に余裕がある場合には、当該避難場所・指定避難所に生活する避難者の同意のもとに、居室以外の部屋に専用スペースを設け使用させることができる。

動物への給餌、排泄物の清掃等の飼養・管理は、当該動物の飼い主が全責任を負うものとする。また、居室以外の専用スペースで飼養した場合、撤去後に当該動物の飼い主が施設を現状復旧させる全責任を負うものとする。



10

本市のこれまでの避難所運営上におけるペットや喫煙などの様々な課題を整理し、他市の事例を参考にしながら、令和2年度出水期までに必要な対応について検討を行う。

２　広域避難所・指定避難所の環境整備

課　題

〇広域避難所、指定避難所における設備、資機材の充実による環境改善
〇長期停電を想定した指定避難所の**非常用電源の確保等施設の充実**
〇指定避難所における避難者の**健康管理を行うためのケア体制の整備**

１　広域避難所の環境改善に向けた取り組み

２　長期避難を想定した指定避難所の環境改善に向けた取り組み

３　多職種連携ケアチームの編成

1　広域避難所の環境改善に向けた取り組み

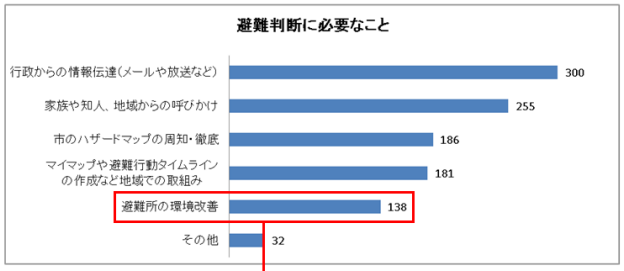
広域避難所を避難しやすい環境とすることで、避難者の増加を図るため、実態や全体のバランスをみながら、空調設備等の環境改善やプライバシー確保のための間仕切りセット、ダンボールベッドなどの資機材整備を計画的に実施する。

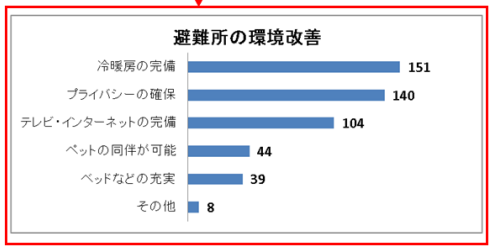
【検討会での意見】
〇避難者数を増やすという観点では、避難場所を安心な魅力ある場所にすることで、避難者を避難所から引っ張るという考え方も重要。

広域避難所の環境改善の課題

※平成30年7月豪雨に関するアンケート結果より

問３－６：災害時に自らの判断で適切に避難するために、どういったことが必要と思われますか？（複数回答可）





アンケート結果から、避難所の環境も避難が進まない原因のひとつであることが読み取れる。

【改善要望のある項目の状況】
・広域避難所として多く指定されている小中学校については、避難場所となる体育館にエアコン設備はない。
・小中学校は、Wi-Fi環境が整っている。
・小中学校には多目的トイレが設置されている。
・地域公民館や開館は畳の部屋があり、エアコン完備でテレビも設置してあるがバリアフリー対応していないものもある。
・施設としてエアコンや多目的トイレが整備済みであっても、避難者が利用できる環境にないところもある。

対応の方向性と調整事項（案）

広域避難所の環境改善・資機材の充実

設備	対応	期間
冷暖房設備	冷暖房設備のある広域避難所においては、避難スペースとして設備のある場所を活用できるよう施設管理者と調整を行う。	令和2年度出水期まで
	冷暖房設備のない、又は、冷暖房設備のある部屋を利用できない広域避難所については、全体的なバランスを見ながら扇風機やストーブなどを配置する。	令和2年度出水期まで
間仕切りセット ダンボールベッド	実態の把握や全体のバランスをみて、年次計画を立て、計画的に配備を進める。 また、企業との物資供給に係る協定の締結を推進する。	継続して実施
その他	避難所のレイアウト、椅子の設置等の気遣いや創意工夫で避難しやすい環境を整える。	継続して実施

２　長期避難を想定した指定避難所の環境改善に向けた取り組み

長期避難となる指定避難所については、一定のバリアフリー対応等の施設の環境整備を図るとともに、避難所生活が無理なく行えるよう資機材の確保について計画的に行っていく。
また、長期停電を想定した避難所の電源確保について、自家発電機の備蓄等、体制整備を進める。

指定避難所における資機材、設備の状況

	非常用電源	トイレ	間仕切り	段ボールベッド	バリアフリー
市民交流プラザ	0	男女分離3か所 簡易トイレ50回分	0	5	スロープ、エレベーター 点字ブロック、多目的トイレ
三段池公園総合体育館	0	男女分離3か所、 簡易トイレ40回分	6	5	スロープ、点字ブロック 多目的トイレ
武道館	0	男女分離	3	0	スロープ、エレベーター 点字ブロック、多目的トイレ
長田野体育館	0	男女分離	3	0	多目的トイレ
日新地域公民館	発電機1台	男女分離 簡易トイレ40回分	3	5	スロープ、多目的トイレ
成和地域公民館	発電機1台	男女分離 簡易トイレ40回分	3	5	スロープ、点字ブロック 多目的トイレ
六人部地域公民館	発電機1台	男女分離	3	0	点字ブロック、多目的トイレ
川口地域公民館	発電機1台	男女分離 簡易トイレ40回分	3	5	スロープ
北陵地域公民館	発電機1台	男女分離 簡易トイレ40回分	3	5	スロープ、点字ブロック 多目的トイレ
三和地域公民館	発電機1台	男女分離 簡易トイレ40回分	3	13	点字ブロック、エレベーター 多目的トイレ
夜久野ふれあいプラザ	発電機1台	男女分離3か所 簡易トイレ40回分	3	20	スロープ、点字ブロック 多目的トイレ
大江地域公民館	0	男女分離 簡易トイレ40回分	3	0	スロープ、点字ブロック 多目的トイレ
有路下体育館	0	男女分離 簡易トイレ40回分	3	0	スロープ、多目的トイレ

※防災備蓄倉庫に可搬式発電機１１台を汎用として配備している。

対応の方向性と調整事項（案）

指定避難所の環境改善・資機材の充実

設備	対応	期間
冷暖房設備	冷暖房設備のある広域避難所においては、避難スペースとして設備のある場所を活用できるよう施設管理者と調整を行う。	令和2年度出水期まで
	冷暖房設備のない、又は、冷暖房設備のある部屋を利用できない広域避難所については、扇風機やスポットクーラーをレンタルし配置する。	令和2年度出水期まで
トイレ	長期にわたる大人数での避難を想定し、廃棄物処理等の協定締結先と連携を図りながら、避難所ごとの男女比等に配慮して、簡易トイレや仮設トイレの適切な配置を行う。	継続して実施
間仕切りセット	実態の把握や全体のバランスをみて、年次計画を立て、計画的に配備を進める。	継続して実施
段ボールベッド	実態の把握や全体のバランスをみて、年次計画を立て、計画的に配備を進める。	継続して実施
非常用電源	・建替えを行う北陵地域公民館において、モデル的に非常用電源設備として蓄電池、ソーラーパネルやPHV車の接続設備等の整備を行う。 ・他の指定避難所においては、現在、市で所有している可搬式の発電機による対応を中心とし、非常用電源の確保を行う。	継続して実施
その他	避難所のレイアウト、椅子の配置等の気遣いや創意工夫で避難しやすい環境を整える。 また、施設の改修時にはバリアフリー化を進める。	継続して実施

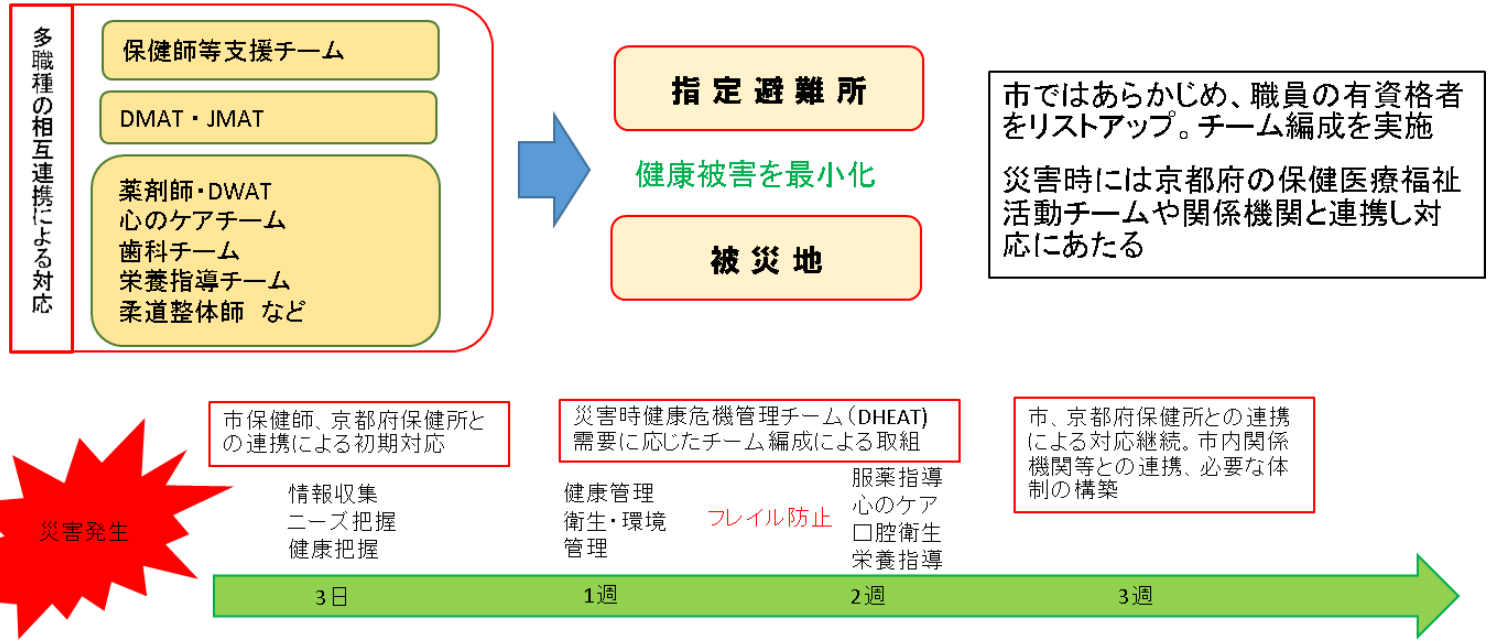
３　多職種連携ケアチームの編成

避難が長期化する場合には、身体的、精神的な疲れや衛生面の悪化により被災者の健康が脅かされ、最悪の場合、災害関連死や寝たきりに陥るなどのリスクが高まることから、被災者の健康管理やストレスなどに対する指導・カウンセリングを行うため、京都府とも連携し、市の専門職員による多職種連携のケアチームの編成により、避難所支援体制の構築を図る。

対応の方向性と調整事項（案）

京都府と連携し、長期避難を想定した市職員による多職種連携ケアチームを編成し、指定避難所や被災地において健康指導やカウンセリングを行う。

今後の対応のイメージ



３　災害時要配慮者の避難受入体制の整備

課　題

【災害時要配慮者の避難受入れ体制の整備について】
〇**公設福祉避難スペースの資機材の整備**
〇**災害時要配慮者の避難受入れ体制の整備**
　民間福祉事業者等と連携した指定福祉避難所の拡充

１　公設福祉避難スペースの環境改善・資機材の充実

２　民間社会福祉事業者等と連携した要配慮者の受入れ体制の整備
（テーマ３で説明）

1　公設福祉避難スペースの環境改善・資機材の充実

要配慮者の避難に際しては、避難先が安心して避難できる環境であることが必須であり、ダンボールベッド等の資機材の整備・充実を行い、環境改善を計画的に進めていく。

公設福祉避難スペースの状況

	間仕切りセット	段ボールベッド	バリアフリー
ハピネスふくちやま	0	6	スロープ、点字ブロック、エレベーター、多目的トイレ
三和地域公民館	3	13	点字ブロック、エレベーター多目的トイレ
夜久野ふれあいプラザ	3	20	スロープ、点字ブロック多目的トイレ
金屋ふれあいセンター	3	13	スロープ、点字ブロック、多目的トイレ

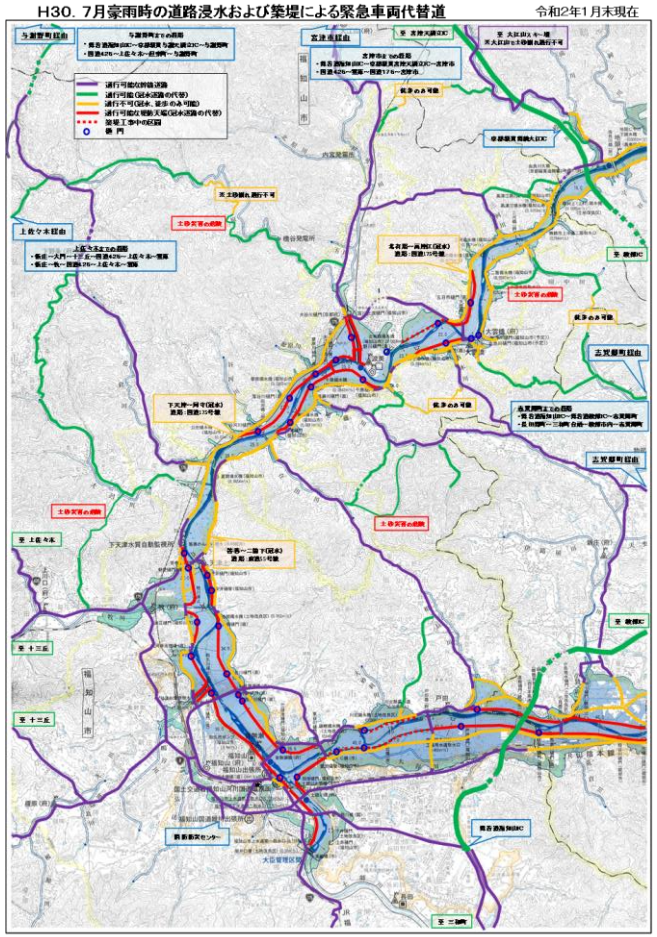
対応の方向性と調整事項（案）

設備	対応	期間
間仕切りセット	実態の把握や全体のバランスをみて、年次計画を立て、計画的に配備を進める。	継続
段ボールベッド	実態の把握や全体のバランスをみて、年次計画を立て、計画的に配備を進める。	継続
その他	避難所のレイアウト、椅子の配置等の気遣いや創意工夫で避難しやすい環境を整える。 また、施設の改修時にはバリアフリー化を進める。	継続

4　緊急車両の移動経路の確保

地域によっては、道路冠水等により道路が寸断され孤立状態になることも想定されるため、緊急車両の移動経路として代替道路の活用について継続して関係機関等と調整を行っていく。

対応の方向性と調整事項（案）



・福知山市においては、由良川増水及び内水により、国道175号及び府道舞鶴福知山線等が浸水し、大江町方面とのアクセスが寸断される状況が発生する。
・令和2年の出水期に向け、国土交通省、京都府さらには近隣市とも情報共有を図り、有事の際の緊急車両代替道として活用する。
・この代替道路図については、内水等により避難所が半孤立状況になる地域に対して、「ここまでは救急車等緊急車両がいける」「この位置に避難所（セカンドベスト、サードベスト）を設けてもらえば、要救助者対応が可能となる」など、マイマップ、マイタイムラインの作成時の補完情報としての活用も期待できる。

テーマ５

避難所の受け入れ体制・運営はどうするのか！

取り組むべき内容とスケジュール（案）

No.	内容	役割	スケジュール（案）	R2出水期への具体的対応
1	広域避難所の開設・運営方針の策定	市	R2年度～　継続して取組む	
2	指定避難所運営マニュアルの策定	市	R2年度	
3	広域避難所におけるペットや喫煙などの扱いも含めた運営マニュアルの策定	市	R2年度	

取り組むべき内容とスケジュール（案）

No.	内容	役割	スケジュール（案）	R2出水期への具体的対応
4	広域避難所の環境改善	市	R2年度～　継続して整備	
5	指定避難所の環境改善	市	R2年度～　継続して整備	
6	多職種連携ケアチームの構築	市	R2年度	
7	公設福祉避難スペースの環境改善、資機材の充実	市	R2年度～　継続して整備	
8	緊急車両の移動経路の確保	道路管理者等	継続協議	